



高尾山のいきものたち

ムラサキシジミ

(シジミチョウ科)



ハッとするような青紫色の翅が輝く。翅を閉じていると茶色っぽい姿で目立たないが、開くと、黒色で縁取られた青紫色が目飛び込んでくる。翅の先端がとがっているのも面白い。

平地から山地の森林や公園などに棲み、6～11月と成虫で越冬した後の3～4月頃に見られる。日当たりのよい林縁に現れることが多く、夕方には木のまわりを活発に飛ぶ。幼虫は主にアラカシ、スタジイなどのブナ科の木の葉を食べる。幼虫は身を守るための特別な能力がある。身体からアリを誘引する甘い物質を分泌し、その分泌物を食べたアリは幼虫の周りにとどまり、幼虫に危害を加えようとするものに対し攻撃をしてくれる。魅惑的な色の蝶だが、生き方も神秘的だ。

(写真・文 森林インストラクター 藤原 裕二)



NO.52

クロモジ

(クスノキ科)

クロモジは春に黄色い花を咲かせるので、春が来たのを告げる花の一つである。樹皮は黒い斑点を文字に見立てたことからクロモジ（黒文字）とよばれた。高級和菓子の爪楊枝として使われている。

クロモジの枝は油分が多いため、林業をやっていた人たちが、昼食時など際暖をとる時に火付きがよくすぐ燃えるたき付け用の木として、この小枝を採取して使用した。特に、雨が降っているときなど、スギの枯れ葉や普段使っているたき付けの燃材が使えない時に重宝されていた。

クロモジの枝葉は薬用の効用がある。やかんに生の枝葉を入れて10分も沸騰させれば香りの良いクロモジ茶が出来上がる。乾燥した枝葉でもよく抽出することが出来る。市販されているクロモジ茶もある。

クロモジは生薬を烏樟（ウシヨウ）といい、リラックス効果や安眠作用も期待できる。また抗菌、

消炎作用などがあるといわれている。

枝を細かく切って焼酎に漬けるとクロモジ酒も作ることが出来る。こちらは一週間くらい漬けて取り出せば出来る。生薬の「ウシヨウ」として薬用酒に多く配合されている。（富）



クロモジ酒



クロモジ茶



乾燥させた枝葉

令和2年度 森林カレッジ受講生募集

【カレッジⅠ】

日程 令和2年5月16日(土)
内容 講義「森林の見方」
体験 森林散策
講師 一般社団法人森林・自然環境儀者教育会長
桜井 尚武 氏



募集人員

30人
応募者多数の場合は抽選とします。

対象者

森林・林業に興味があり、18歳以上70歳未満の健康で急傾斜地での作業や山歩きが可能な方。

申込方法

往復ハガキに、①住所、②氏名(ふりがなを入れる)、③年齢、④職業、⑤電話番号(自宅と携帯電話)を記入のうえ高尾森林ふれあい推進センター「森林カレッジ係」までお申込ください。

申込締切日

令和2年4月20日(月)必着

参加費

傷害保険料として300円(年間保険料)程度負担いただきます。

※日程及び内容は変更する場合があります。

お問合せ先

関東森林管理局
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844
東京都八王子市高尾2438-1
電話 042-663-6689
FAX 042-663-7229

【カレッジⅡ】

日程 令和2年7月11日(土)
内容 講義「森に学ぶ～森づくり
ことづくり ひとづくり」
体験 下草刈り作業
講師 東京農業大学教授 宮林 茂幸 氏



【カレッジⅢ】

日程 令和2年10月10日(土)
内容 講義「木の成長としくみ」
体験 間伐作業
講師 元多摩森林科学園園長 三輪 雄四郎 氏



【カレッジⅣ】

日程 令和3年1月16日(土)
内容 講義「森林の恵みと共に
炭焼き、そして森林の香り」
体験 炭焼き作業
講師 東京大学名誉教授 谷田貝 光克 氏



ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

森林ふれあい推進事業

森林ふれあい推進事業の協定団体である森林インストラクター東京会からイベント実施報告をいただきましたので紹介します。

魅力満載・冬の高尾山を歩く 【2月6日（木）】

この冬一番の寒さとなりキンと冷えた快晴の空の下、33名の参加者が集い、開会式では高尾森林ふれあい推進センター所長からご挨拶を頂いた。

冬の稲荷山コースでは常緑広葉樹、針葉樹、落葉樹がわかりやすく、高尾山の植生を理解しながらハナイカダ、リョウブ、マルバアオダモ、ミズキなど、特徴ある冬芽を観察。山頂では雲ひとつかかっている富士山の景色や、塩見岳など遠く南アルプスの山並みも見ることができ、それぞれ昼食の合間に素晴らしい景色を写真に収めていた。

薬王院では、その歴史や各建築物の特徴など観察し、境内で運よく野鳥のウソ（オス）3羽が、カエデの木に留まり種子をついばんでいる姿を観察した。下りの1号路は北斜面ゆえ、登りと違って変わって日陰が多く、北風が強く吹き付け、冬の厳しさを感じながらのハイキングとなったが、怪我や体調を崩した人もなく、無事に行程を終えた。参加者からは、冬の高尾山を十分楽しめた、寒かったが富士山がきれい良かった、シモバシラも観察できた、などの感想が多く寄せられた。（FIT 長谷川）



冬のたたずまいに触れる



富士山の勇姿



カエデにとまった「ウソ」



きれいなシモバシラ

出前森林教室 八王子市立 上川口小学校

2月20日（木）と21日（金）の2日間、八王子市立上川口小学校5年生7名が学校の裏山を利用して森林教室（炭焼き体験）を行いました。

1日目は、「炭の作り方」の説明後、2班に分かれて伏焼き窯の準備から炭にする竹材並べ、窯内に熱を送り込むための団扇あおぎに至るまで児童が中心となって行いました。窯から上る煙に手を当てたりにおいをかいだりする様子も見受けられました。

その後、校内で「森林の働き」について座学を実施。その合間に5年生以外の児童達が各自持ち寄った材料で花炭作りに挑戦。

2日目は、窯出しです。児童の丁寧な作業の成果もあり、炭はきれいに仕上がっていました。虹色に光る炭には児童も先生も大喜び。出した炭を箱詰めした後、窯を片付けて終了となりました。閉会時には「地球温暖化が進むと大変なことになることがわかった」「炭の役割がわかった」等の感想が児童からありました。

炭焼きという日常とは違った経験をしたことで、自然と人とのつながりや環境について何かを感じていただけたと思います。（高）



煙が出てきた～！



たくさんの炭ができました

森林・林業技術等交流 発表会に参加

2月13～14日、関東森林管理局において令和元年度森林・林業技術等交流発表会が開催されました。

当センターからは「森林環境教育」を充実するための取組について」と題した発表を行いました。

林野庁では現在「森林・林業基本計画」により、「青少年等が森林・林業について体験・学習する機会の提供や木の良さやその利用の意義を学ぶ活動である“木育”を推進し、国有林においてもフィールドや情報の提供、技術指導等を推進する、としています。このことに基づいて、当センターでは森林教室、森林カレッジ、職場体験、体験林業、公募イベント、協定イベントを毎年実施しています。そしてここ数年では「森林教室」において、特別支援学校等を積極的に受け入れる体制も整えています。

こうした取組について説明し、審査員からも好印象なコメントを頂きましたが、残念なことに入賞は逃してしまいました。しかし今回の発表を通し、多くの関係者に当センターの活動内容について知って頂けたものと確信しています。今後もさらなる研鑽を続け、いっそう充実した森林環境教育の場を提供していきたいと思ひます。（磯）



質問に答える発表者

編集後記

新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のため、3月15日（日）まで当センター1階のクラフト室、展示室は休館とさせていただきます。ご了承ください。

クロモジの芽吹き



Forest通信 NO.373

発行：林野庁関東森林管理局

高尾森林ふれあい推進センター

ご意見・ご要望・イベントのお申込み・お問合わせ先
高尾森林ふれあい推進センター

〒193-0844 東京都八王子市高尾町2438-1

TEL 050-3160-6040 FAX 042-663-7229

<http://www.rinya.maff.go.jp/kanto/takao/index.html>

